

媒体名	日本流通産業新聞	掲載日	2012年1月26日号
タイトル	「美容・健康オイル 特集」		

美容・健康オイル特集

人類とオイルとの関係は古く、深い。近年では、化粧品分野で美容オイルがとみに注目を集めている。スクワランの価格高騰やホホバオイルの品薄などもあり、化粧品素材の分野では、「アルガンオイル」のような、主役を張れるオイル素材に引き合いが増えている。一方、健康食品素材に目を転じて、オイル市場は活況。アカデミックな研究の進展により、健康オイルの体内での作用メカニズムなども解明が進んできているようだ。注目すべき最新美容・健康オイル素材を特集する。

ニュートリション・アクト「アルガンオイル」

抗酸化力強く注目集まる

高品質な製法の素材を提供

ビタミンEが豊富で抗酸化力が高いことなどから美容系オイル素材として注目が高まっているのが「アルガンオイル」だ。化粧品として配合すると、保湿力だけでなく高い洗浄力なども期待できることから、美容オイルにとどまらず、クレンジングオイル、石鹸、ヘア

ケア製品、リップクリークムなど幅広い用途で利用されている。

健康食品・化粧品用のEM製造や、素材の輸入販売などを行うニュートリション・アクト(本社:東京都石川雅)CEO、(株)O3-5475-73(13)は、国内における草分けとして、モロッコ

原産の高品質な「アルガンオイル」を提供している。

美容系素材として脚光を浴びるアルガンの木から採取されるアルガンオイルは米国で美容系素材として注目を集めたのをきっかけに、日本でも各種マスコミに取り上げられる

化粧品・食品素材

など注目度を増している。一方で、市場の活性化に伴いクレードの異なる原料が市場に流入しており、「玉石混交」の状態となっている。

ニュートリション・アクトでは、03年から、品質にこだわりを持って「アルガンオイル」の供給を行っている。



食品用の「アルガンオイル」とスキンケア用の「アルガンオイル」配合のパウムクローヘン

衛生・品質を徹底追求

同社が供給するアルガンオイルには、衛生面・品質面で世界に通用するレベルにするため、石臼による古典的な製法ではなく、低温圧搾法による機械圧搾が採用されている。モロッコ政府が、指定地域でしかるべき品質

管理と製造工程を持つ生産者を認証する「IGP」の認証も得ている。

国内への受け入れにあたっては、油脂の劣化の状態を計る「酸価」や、油脂の酸化状態をみる「過酸化物質」に異常がないかをロット毎に管理、他のオイルが混入されていない100%アルガンオイルであることも試験で確認している。

現地雇用拡大にも貢献

一方で、モロッコの現地雇用の確保にも最大限に配慮。実から種を取るまでの工程は現地女性が手作業で行い、同社はオイル原料を適正価格で購入する。発展途上国の原料や製品を適正価格で継続購入することで、途上国の生産者や労働者の生活の改善と自立を促す「フェアトレード」のビジネス形態を採っている。こうした取り組みは、テレビのドキュメンタリ

一番でも取り上げられるなど、各方面で注目を集めている。

食品素材としても好評

「アルガンオイル」は、化粧品素材としてだけでなく、一般食品や健康食品の素材としても注目を集めている。同社では、都内・銀座に洋菓子店「パティスリー ラ・パランヌ 銀座」を開店しており、アルガンオイル配合のパウムクローヘンやチーズケーキが好評を集めている。抗酸化作用が強いため、健康食品素材としてもさまざまな有効性が期待できるという。